

専門学校赤門自動車整備大学校 令和5年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	基本計測				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	21時限	単位時間数	42時間(1.4単位)		
教科書等持参品	・2級自動車ガソリン ・2級自動車ジーゼル ・2級自動車シャシ ・整備機器				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・各エンジン部品の計測を正確にできるようになる。 ・各シャシ部品の計測を正確にできるようになる。 ・作業においての安全に関する知識を習得する事ができる。 				
概要	項目				時限
	・エンジンの各部品計測作業				17
	・M/T、D/F、ステアリング装置の計測作業				4
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジについて理解でき、シャシ装置やエンジン各部品を正しく計測ができる。 				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジ 				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和5年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	シャシ				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	131時限	単位時間数	262時間(8.7単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・4AT、CVTを分解、組立が出来、構造を理解できる。 ・エア式・複合式ブレーキ装置の構造・作動を理解する ・全浮動式アクスルの構造を理解できる。 ・マニュアルトランスミッション及びシンクロ機の構造・作動を理解する。 ・パワーステアリングの構造・作動を理解する。 				
概要	項目				時限
	・4AT、CVT、M/T、D/Fの分解、組付け、M/Tの脱着				61
	・タイヤの組み換え、バランス調整作業				10
	・エアサスペンションの分解、組付け				5
	・ブレーキバルブ、ブレーキチャンバ、リレーバルブ分解、組付け				5
	・エアコンディショナー整備				10
	・全浮動式ハブの分解、組付け				10
	・パワーステアリング(油圧式・電動式)の分解、組付け				10
	・ホイールアライメントの測定、調整				10
	・二輪車の車体整備				10
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電子制御式オートマチック・トランスミッションの構造及び作動理解ができる。 ・エア式ブレーキ、A/T、M/T、D/Fの構造・作動を理解できる。 ・ブレーキ分解組立作業を通じて、安全かつ正しい作業工程を理解できる。 ・実際の職場環境同様、誰とでも安全かつ迅速に正しく作業ができることを目指す。 				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・トランスミッション(4AT・CVT) ・エアブレーキ装置一式、乗用車、トラック ・ステアリングギヤボックス(油圧式・電動式) ・貨物車(実車) 				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和5年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	電 装				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実 習
総 時 限	51時限	単位時間数	102時間(3.4単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・2級ジーゼル自動車エンジン編 ・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目 的	・車両に関する電気装置の脱着が出来る。(パワーウィンド・レギュレータ脱着) ・配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。 ・オルタネータの脱着が車上でできる。ラジエータ脱着、LLC交換など付随する作業も含む				
概 要	項 目				時 限
	・車両ドア分解、レギュレータ脱着				10
	・エアバック、ステアリングコラム分解				10
	・配線図を見ながら実車の各配線の点検、確認				10
	・実習車よりオルタネータ脱着				6
	・実習者よりスタータ脱着				5
	・電子ブロック、サーキットテスターを使用して、電装品を理解する				10
到達目標	・配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。 ・部品の脱着を通じて車両を取扱う上での注意点、車両チェックをマスターする。				
使用教材	・サーキットテスタ・スタータ・オルタネータ・オシロスコープ・電気配線図集 ・電子ブロック・実習車両(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合 格 49～30点：2 29～ 0点：1 不 合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和5年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	エンジン(ガソリン・ディーゼル)				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	73時限	単位時間数	146時間(4.8単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・赤門オリジナルテキスト ・2級ディーゼル自動車エンジン編				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	・エンジンの種類の違いを学び、主要部品の名称・役割がわかる ・エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを学ぶ。 ・分解時、諸注意に気を付けて行動が出来る。				
概要	項目				時限
	・水平対向エンジン (OHV) 分解、組付け				10
	・ガソリンエンジンの分解、組付け				10
	・ディーゼルエンジン (OHV) の分解、組付け				10
	・ディーゼルエンジン (バランスシャフト) の分解、組付け				10
	・V6エンジンの分解、組付け				8
	・ダイハツ軽自動車のエンジン分解、組付け				8
	・水平対向エンジン (DOHC) の分解、組付け				9
	・スズキ軽自動車エンジンの分解、組付け				8
到達目標	・分解作業によりエンジンの構造を理解する。 ・分解上の諸注意に気を付け安全配慮が出来る。 ・エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを理解する。				
使用教材	・水平対向エンジン ・ディーゼルエンジン ・ガソリンエンジン ・V6エンジン				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	故障探求				
履修年次	2年次	履修学期	10月～11月	授業形態	実習
総時限	22時限	単位時間数	44時間(1.4単位)		
教科書等 持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編		・2級ジーゼル自動車エンジン編 ・自動車の故障と探究		
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	・故障診断が的確に出来るよう理解する。				
概要	項目				時限
	・故障診断の進め方 (効率的な診断・診断の基本)				1
	・故障診断の進め方 (原因の推定)				1
	・故障診断の点検方法 (エンジン・シャシ)				4
	・故障診断の点検方法 (外部診断機OBD)				4
	・故障診断の点検方法 (外部診断機を使用した点検)				4
	・故障診断の点検方法 (各センサーの単体点検)				4
	・故障診断システムの点検				4
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン各部の構造、作動を理解する。 ・効率的な診断を心がけると共に診断の基本について理解する。 ・電子制御の各センサーの作動を理解し点検ができる。 				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和5年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	定期点検・検査作業				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	18時限	単位時間数	36時間(1.2単位)		
教科書等持参品	・自動車定期点検整備の手引き ・法令教材 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲・皆川 幸正・大和田 英彦・佐藤 信也・吉田 直人・櫻田 太 ・岡崎 英貴・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両法の点検及び整備、検査を理解する。 ・定期点検（法定点検、新車点検）の必要性を理解する。 ・自動車点検基準に合わせて整備内容を習得する。 ・リフトでの上げ下げの声だしが自然にできるようにする。 ・自らが作業の効率を上げるために、考えられるよう意識させる。 				
概要	項目				時限
	・点検と検査の違い 受入(点検)－法定点検－引渡 を理解する。				1
	・12ヵ月点検の実施要領、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				7
	・24ヶ月点検の実施、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				7
	・検査ラインで保安基準適合確認				3
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・法定 点検を決められた時間で、確実にこなせるようにする。(車両が変わっても行える) ・自らが作業の効率を上げるための行動が出来るようにする。 ・定期点検記録簿が、漏れなく記入できるようにする。 				
使用教材	・実習車(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				